

(令和2年8月18日)

昨日、29件の検査を実施しましたところ、市内で新たに1名(120例目(県内133例目))となる感染者が確認されました。

この方は、松江市立病院に勤務する30歳代の女性の方です。

8月9日に19例目(県内31例目)の濃厚接触者として検査を受け、陰性が確認されていました。以降は、外出自粛をお願いし、保健所による健康観察で、嗅覚障害の症状が確認されたため、昨日17日に再検査を実施したところ、陽性が判明したものです。

なお8月8日以降は、市立病院への出勤はありません。

現在、症状も軽く、保健所の指導のもとに自宅で待機し、本日、島根県広域入院調整本部において調整の上、感染症対策を講じた医療機関へ入院予定です。

今回、市立病院の職員で感染者が判明しましたが、家庭内での感染と推察され、19例目の感染が確認されて以降、自宅待機をされていることから、市立病院での濃厚接触者はいないと考えており、院内での感染の可能性は極めて低いものと考えています。

厚生労働省のクラスター検討班の先生にもご相談しましたが、院内で感染が広がることは考えにくいとのことでした。

しかしながら、地域の基幹病院として、多くの患者様にご利用いただく施設として、万一の可能性も残してはならないとの観点から、院内での接触者について、幅広く検査対象と捉え、迅速に検査を行っていく考えです。

市立病院では、感染管理専門の医師の指導の下、毎日の検温などの健康観察や手指消毒、マスクの着用などの標準的な感染防護を徹底していますし、施設においてはこまめな消毒など感染防止に万全を期しております。

市立病院では今後もこれらの対策を徹底してまいりますので、市民の皆様には、これまでと同様に安心して来院いただけるものと考えております。

市立病院をはじめとした医療機関の職員は、日夜感染症のリスクと闘いながら、勤務しています。市民のみなさまには間違った情報などに惑わされることなく、冷静な対応をお願いします。

次に、退院の状況についてです。

昨日17日に、入院中の患者さんのうち、18人が退院されました。退院された方には、4週間の健康観察等を依頼していますが、外出自粛等の制限はありません。

なお、17人は浜南高校の生徒さんで、当面の間、学校関連施設を生活の場として過ごされるものと伺っております。

浜南高校におかれましては、今後退院が予定されている生徒を受け入れるため、8月16日には施設の消毒を実施し環境を整えるとともに、学内生活における感染予防対策をマニュアル化するなど、準備を進めてこられたと伺っております。

また、その他の生徒のみなさんも、外出自粛などの制限された生活の中で、学校関連施設等で手指消毒やマスクの着用、部屋の換気などの感染予防対策を徹底しながら、学校生活の正常化にむけて、引き続き健康観察を実施しております。

このような状況の中で、施設外へ感染が広がる恐れはありません。

市民のみなさまにおかれましては、根拠のないデマや誤った情報に惑わされることなく、正しい知識に基づいた冷静な対応・行動を、重ねてお願いします。